

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	宇部市立吉部小学校	実施時間	学級活動 等
-----	-----------	------	--------

1 ねらい

- 地震発生時の基本的な避難行動を習熟させるとともに、防災に対する知識を深めさせ、子どもたちの防災対応能力を高める。

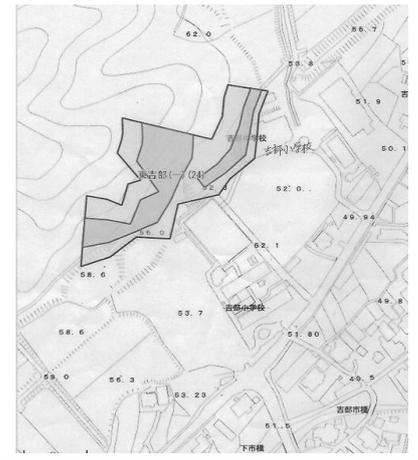
2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<p>1 避難訓練</p> <p>(1) 効果音（地震）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は指示を聞く。 ・机の下に入り、机の脚を持つ。 <p>(2) 効果音が終わって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机の下に入ったまま待機する。 <p>(3) 20秒後 効果音</p> <p>(4) 効果音が終わって</p> <p>(5) 効果音が終わって1分後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の後ろに整列する。 <p>(6) 避難開始</p> <p>(7) 安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動場に集合する。 <p>(8) 避難訓練の振り返り</p> <p>2 避難訓練事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに机の下に入り、机の脚をななめに2本しっかりと持つよう指示する。 ・余震に備え、机の下でそのままの姿勢を維持するよう指示する。 ・再度、机の脚を2本しっかりと握るよう指示する。 ・次の余震に備え、机の下でそのままの姿勢を維持するよう指示する。 ・机の下から出て、落ち着いて教室の後ろに並ぶよう指示する。 ・児童を運動場へ避難させる。 ・整列をさせ、点呼をとる。 ・教師全員が避難訓練の感想を述べる。 <p>【NHKホームページを活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報のチャイム音を聞かせる。 ・緊急地震速報の放送例を聞かせる。 ・緊急地震速報の解説を聞かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震から命を守るための備えについて、「防災教育テキスト」で学習させる。 ・土砂災害から命を守るための備えについて、「防災教育テキスト」や山口県土木災害警戒避難体制図で学習させる。 	<p>〔想定する状況〕</p> <p>授業中、強い地震が発生。本震が始まって10秒後に余震が襲ってくる。校舎内にいると危険だと思われるが、本震により電気が使えなくなり、放送が入らない。そこで、担任の判断と指示により、子どもたち全員を直ちに運動場へ避難させる必要が生じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余震が収まるまでは、帽子をかぶり、机の下で待機させる。 ・体育館の場合は、中央に集まるよう指示をする。 ・静かに整列させる。 ・上靴のまま避難させる。 ・人数確認をし、報告させる。 ・簡単な振り返りをさせる。 ・視聴覚室に全校児童を集め、スターボードでプレゼンテーションを行う。 ・「緊急地震速報受信時対応行動訓練」 http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kit1.html とNHKホームページ「緊急地震速報」を聞いた後に、どのように避難するかについて学習させる。 ・「防災教育テキスト」から、プレゼンテーションを作成し、全員で避難方法などを考えさせる。 ・吉部小学校が「土砂災害特別警戒区域」にあることから、土砂災害の危険が迫ったときの避難行動について教える。





山口県土木災害警戒避難体制図



- 「防災教育テキスト」を使い、避難場所や非常持ち出し品について話し合う。

- 避難場所や非常持ち出し品を確認するため、「防災教育テキスト」を例に考えさせる。

〔家庭学習として〕

- 家族と一緒に確認させる。
- 災害が起きたときの避難場所と非常持ち出し品のチェックをし、担任に提出させる。

- 災害時の避難場所や非常持ち出し品を家族と一緒に話し合うことで、家庭での意識向上を図る。

家族でかくにん！ 日ごろからのぞきま

大きな災害が起きたときのひなん場所などについて、家族で決めておきましょう。

自分が住んでいる地域では、どんな災害がおきることが考えられるか、家族で話し合ひましょう。

【ひなん場所について】

大きな災害が起きたときのひなん場所について、家族で話し合ひて決めておきましょう。

学校にいるとき

家にいるとき

昼下校中

※学校にいるときのひなん場所を家族でも確認しておきましょう。

【ひじょう持ち出し品をじゅんびしましょう】

じゅんびしてあるか、家族でチェックしましょう。

水 食糧 お薬 懐ちよういんかん かい中電とう 懐電

懐がえ ヘルメット ラジオ 電池 ライター・マッチ 軍用ナイフ

※写真は家族で話し合ひて必要な物を記入しましょう

学校 年 名前

1～3年生

家族で確認！ 日ごろからのぞきま

大きな災害が発生した時の避難場所等について、家族で確認しておきましょう。

自分が住んでいる地域ではどんな災害が発生することが考えられるか家族で話し合ひましょう。

【避難場所について】

大きな災害が発生したときの避難場所について、家族で話し合ひて決めておきましょう。もし、一人で行くときに災害が発生した場合には、家族で決めた避難場所に家族が来ることを促して、思いで避難しましょう。

災害発生時の状況	避難場所
学校にいるとき	
家に居るとき	
昼下校中	学校に近いとき 家と学校の中間地点
家に一人で行くとき	

【非常持ち出し品の準備・点検について】

避難場所まで持ち出さなければならない物です。準備してあるか家族でチェックしてみましょう。

持ち出し品	種類	持ち出し品	種類	持ち出し品	種類
水	食糧	お薬	懐電		
懐がえ	懐ちよういんかん	ラジオ	電池	ライター・マッチ	

※写真は家族で話し合ひて必要な物を記入しましょう

【大災害発生時の連絡方法について】

大災害が発生した場合には、電話がつかないことがあることがあります。その場合、「災害用伝言ダイヤル119」を利用し、伝言を録音したり、その伝言を聞いてもらうことができます。（詳しい情報は関係機関にしてください）

【避難するときに気をつけること】

災害が発生した場合は、家族や近所の人と一緒に早めに避難しましょう。

子どもだけで避難するときは、学校で学習したことを思い出して、自分の命を守りぬくために避難をつくりましょう。

学校 年 名前

4～6年生

「地球キッズ探検隊」
<http://www.jishin.go.jp/kids/index2.html>
 「もしもに備える防災クイズ」
<http://www9.nhk.or.jp/311shogen/fa/quiz/index.html>
 (上記のホームページを使ってクイズを用意していたが、時間の都合で当日は省いた。)